

◆平成30年12月28日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 今年台風第21号の暴風雨に始まり、北海道胆振東部地震など災害に見舞われた年であった。また、地震時には今まで経験したことがない道内全域が停電となる事態が起こった。災害対応する中で、反省点もあったと思うが今後活かしていきたい。
- 農産物が6月、7月の長雨や日照不足から不作と聞いている。JA道央によると小麦は収量が例年の4割程度と聞いている。米は全般的に不作であり、今年は農家の方にとって大変な1年となった。
- 来年はいいことがある年であることを祈っている。今の時代、自分だけがよければいいといった風潮が見受けられるが、そうではなく地方の自治体として社会全体の発展のためになすべきことを考えていかなければならない。
- 来年も様々な事業を予定しており、来年度の予算編成も佳境に入っている。各部から要求された事業について議論を交わし、どのようにするか検討していきたい。

2. 議事

(1) 市制施行50周年記念事業実施方針素案について【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 記念事業の実施に当たり、「事業の目的・基本理念」及び実施方針は下記のとおりである。

【事業の目的・基本理念】

恵庭市まちづくり基本条例の「協働のまちづくり」の理念のもと、先人が積み重ねてきた歴史や業績を振り返るとともに、将来に向けた更なる飛躍・発展に向け、各種事業を実施する。

【事業の実施方針】

- ①将来の恵庭のまちづくりを考える。
- ②市民をはじめとする様々な団体等が連携し、交流を深める。
- ③ふるさと「恵庭」への誇りと愛着を高め、その思いを未来へ引き継ぐ。
- ④次世代を担う子どもたちの夢や希望を育む。
- ⑤本市の魅力を市内外に向けて発信する。

- 事業スキームとして記念式典事業と各種事業の実施を予定している。各種事業としては、市が主催するものや民間企業等が実施する事業に「50周年」の冠をつけた事業の実施を想定しているほか、50周年に因んだロゴやキャッチフレーズを募集する予定である。
- 実行体制として、市内各団体を構成員とする実行委員会組織を立ち上げ、事業実施に係る審議や決定を行う予定である。
- 来年度は50周年の前年度であることから、実行委員会等の立上げ、プレ事業の実施を予定している。50周年を迎える2020年度は記念式典等の実施のほか、花の拠点のオープン式などを特別事業として位置づけたいと考えている。

(2) 年末年始における職員の服務規律の確保について【総務部】～要点抜粋

◎資料に基づき、総務部長説明

- 12月29日から1月3日まで休暇に入るが、改めて服務規律を徹底していただきたい。
- 特に年末年始ということもあり、飲酒の機会が増えるかと思うが飲酒による不祥事が絶対はないよ

う徹底いただきたい。また、帰省等により外出する職員も多いかと思うが冬道は特に注意を払って
運転していただきたい。

○休暇中の部内連絡体制を確認し、何かあれば対応できるよう準備願いたい。

3. その他

【議会事務局長】

◎「恵庭市ふるさと産業振興条例」制定記念フォーラムの開催について

今年発足した恵庭市議会防衛議員連盟の主催による「恵庭市ふるさと産業振興条例」の制定
を記念したフォーラムを下記のとおり開催する。

【日 時】 平成31年1月16日（水）18：00～19：30

【会 場】 市民活動センター「えにあす」2階 会議室

【基調講演】 長崎県佐世保市議会議長 市岡博道氏（全国市議会議長会基地協議会前会長）